平成 22 年度 予算要求事業調書

<u> </u>	事業の慨	:安								
事業名(予算の事務事業名)							区分			
11 観光推進対策事業(観光推進対策事業) 新規 拡大 継続								継続		
会計区分款		項	目	所管						
一般会計 7		1	3	経済局 観光政策部			観光政	観光政策課		
事務事業の位置付け										
あわせ倍増プ	番号	55	事業名 市内の観光資源を有効に活用し、海外も 含め観光客を積極的に誘致します					事外も		
総合振興計画新実施計画		事 業 コード	5210	事業名 観光資源の充実・整備事業						
根拠法令	さいたます	たま市観光振興ビジョン								
予算要求事業の概要										
本市の観光振興と市内外への観光資源の積極的なPRを図るため、各種観光団体との連携を図りながら、各種パンフレットの作成、観光資源の整備などの事業を行うものです。 観光大使の活用、半日観光ルートをはじめとする観光資源の情報発信、観光資源周辺の環境整備、回遊手段の整備などを行います。										
<目的> 「さいたま市観光振興ビジョン」及び「しあわせ倍増行動計画」の目標を達成するため、海外も含めた観光客を増加させることを目的としています。 <目標(平成24年度末)> 1 任期付職員の導入(平成22年度) 2 (仮称)観光振興懇話会の開催(平成22年度) 3 羽田空港6県市観光情報センター開設(平成22年度) 4 入込観光客数、年間82万人増達成(平成19年度41万人) 5 観光タクシー、レンタサイクル導入 <現状(平成21年度末)込み)> 1 観光大使の委嘱(平成20年4月) 平成22年3月現在、4つの団体と個人9人に委嘱 2 半日観光ルート(全8ルート)の策定(平成21年2月)										
3 岩槻区において、観光タクシーの運行を開始(平成22年2月) <課題> 本市は、観光都市としてのイメージが弱く、また、市内の観光資源も市外の方に十分、認識されておりません。そのため、市外の方に対し、積極的なPR活動を図る必要があります。										
・平成23年原	(仮称)	観光振興懇段整備のた	話会の開催	ミ験 。						
	(根) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大	観光推進対策事業(観光会計 マークリー (観光 を) (地元 を) (銀光推進対策事業(観光推進対策事業(観光推進対策事業(観光推進対策事業(観光推進対策事業(観光推進対策事業(観光推進対策事業に関する。	事業名(予算の事務) 観光推進対策事業(観光推進対策事業) 会計区分 款 項 目	事業名(予算の事務事業名) 観光推進対策事業(観光推進対策事業) 会計区分 款 項 目	事業名(予算の事務事業名) 観光推進対策事業(観光推進対策事業) 会計区分 款 項 目	事業名(予算の事務事業名) 観光推進対策事業(観光推進対策事業) 会計区分 款 項 目 所管 所管 所 所	事業名(予算の事務事業名) 観光推進対策事業(観光推進対策事業) 会計区分 款 項 目 所管 一般会計 7 1 3 経済局 観光政策部 観光政策部 観光政事務事業の位置付け あわせ倍増ブラン2009 番号 55 事業名 市内の観光資源を有効に活会の観光客を積極的に誘致 合振興計画新実施計画 事業 5210 事業名 観光資源の充実・整備事業 根拠法令等 さいたま市観光振興ビジョン ・	事業名(予算の事務事業名) 区分 観光推進対策事業(観光推進対策事業) 新規 拡入 会計区分 款 項 目 所管 所管 一般会計 7 1 3 経済局 観光政策部 観光政策課 事務事業の位置付け あわせ倍増プラン2009 番号 55 事業名 市内の観光資源を有効に活用し、3 会め観光客を積極的に誘致します 合振興計画新実施計画 コード 5210 事業名 観光資源の充実・整備事業 根拠法令等 さいたま市観光振興ビジョン 予算要求事業の概要 本市の観光振興と市内外への観光資源の積極的なPRを図るため、各種観光団体との事業を行うものです。 観光大使の活用、半日観光ルートをはじめとする観光資源の情報発信、観光資源周辺の3 備、回遊手段の整備などを行います。 信仰、回遊手段の整備などを行います。 本市の観光振興ピジョン」及び「しあわせ倍増行動計画」の目標を達成するため、海がた観光客を増加させることを目的としています。 「さいたま市観光振興ビジョン」及び「しあわせ倍増行動計画」の目標を達成するため、海がた観光客を増加させることを目的としています。 「世期付職員の導入(平成22年度) 2 (版件) 観光振興懇話会の開催(平成22年度) 3 羽田空港 6 県市観光情報センター開設(平成22年度) 4 入込観光客数、年間82万人増達成(平成19年度41万人) 観光使の多幅(平成20年4月) 平成29年度 1 観光使の多幅(平成20年4月) 平成29年 3 月現在、4 つの団体と個人9 人に委嘱 2 半日観光ルート(全 8 ルート)の策定(平成21年 2 月) 1 観光使の多幅(平成20年 2 月) 1 観光のまに表見込み) 1 観光のの事(平成20年 3 月現在、4 つの団体と個人 9 人に委嘱 2 半日観光ルート(全 8 ルート)の策定(平成21年 2 月) 1 観光が都市としてのイメージが弱く、また、市内の観光資源も市外の方に十分、1 1 観光がまた。そのため、市外の方に対し、積極的な P R 活動を図る必要があります。 ・平成22年度 任期付職員の導入。羽田空港 6 県市観光情報センター開設。 (仮称)観光振興懇話会の開催	

2 予算要求の内容と査定結果

(単位:千円)

_		古し且に	(丰位:111)
Щ	区分	金額	備考
平成21年度	財源内訳 一般財源	15,359 15,359	1 観光ス大便事業経賃 2,000 2 観光案内用看板作成経費 2,400 3 その他観光PR事業経費 10,889
平成22年度	当初予算要求	29,971	<積算内訳> 1 観光大使事業経費 1,805 2 観光案内用看板作成経費 13,062 3 (仮称)観光振興懇話会経費 338 4 羽田観光情報センター事業経費 4,680 5 うなぎまつり交流事業経費 749 6 その他観光PR事業経費 9,337
	財源内訳 一般財源	29,971	 <要求理由> 「さいたま市観光振興ビジョン」及び「しあわせ倍増行動計画」における目標を達成するために必要な経費を要求するものです。
	財政局長査定	17,797	<査定内容> 1,805 1 観光大使事業経費 1,805 2 観光案内用看板作成経費 2,233 3 (仮称)観光振興懇話会経費 331 4 羽田観光情報センター事業経費 3,676 5 うなぎまつり交流事業経費 749 6 その他観光PR事業経費 9,003
	財源内訳 一般財源	17,797	
	市長査定	17,797	<查定内容> 同上
	財源内訳 一般財源	17,797	<査定理由> 財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、 財政局原案のとおりとしました。